

準拠して実験を行った。

3. 両汚染布の洗浄性の傾向はほぼ同じであるが洗浄効率は IEC の原布による方が高い。洗剤については一般に JIS 洗剤の方が洗浄効率がよく、濃度による影響は 0.3% に極大値のみられるものがあるが一般に 0.2~0.5% 間では余り差がみとめられない。水洗浄と洗剤洗浄の間の洗浄力の差は洗たく機 JIS 汚染布の方がやや高く検出された。洗浄効率のバラツキは IEC 汚染布の方が大である。うす地の洗たく JIS 汚染布は洗浄時に二つ折りになるという欠点があるが IEC 汚染布は厚地のためこの現象はみられなかった。電気洗たく機試験でも汚染布の洗浄性については同様の傾向がみとめられるが補助布の大きさにより洗浄効率には差がみられた。

B-18 電気洗たく機性能試験法の研究 (第 1 報)

——汚染用国際標準原布の性能検討——

私立東京成徳高 ○森田 幸子
東京学芸大 岩崎 芳枝
お茶の水女大家政 矢部 章彦

1. 洗たく機の性能試験法を国際化する (IEC/TC59) に当たっての問題点のうち、汚染用標準原布について、その洗浄力試験への適用性を電気洗たく機用標準人工汚染布 (JIS) と比較検討することを目的とした。

2. 人工汚染布は IEC 汚染原布規格と同等のモメン原白布 (糸密度 21×26/cm, 厚さ 0.37mm) と徒来我国で用いている鐘紡天児級 (糸密度 39×43/cm, 厚さ 0.20 mm) を日本油化学協会法により汚染して用いた。洗浄試験は Tergotometer を用い、洗剤は IEC 案および電気洗たく機 JIS 規格による標準洗剤、濃度は 0~0.5% について 30°C で 15 分間洗浄した。あわせて電気洗たく機についても IEC 案、JIS 電気洗たく機標準試験法に